

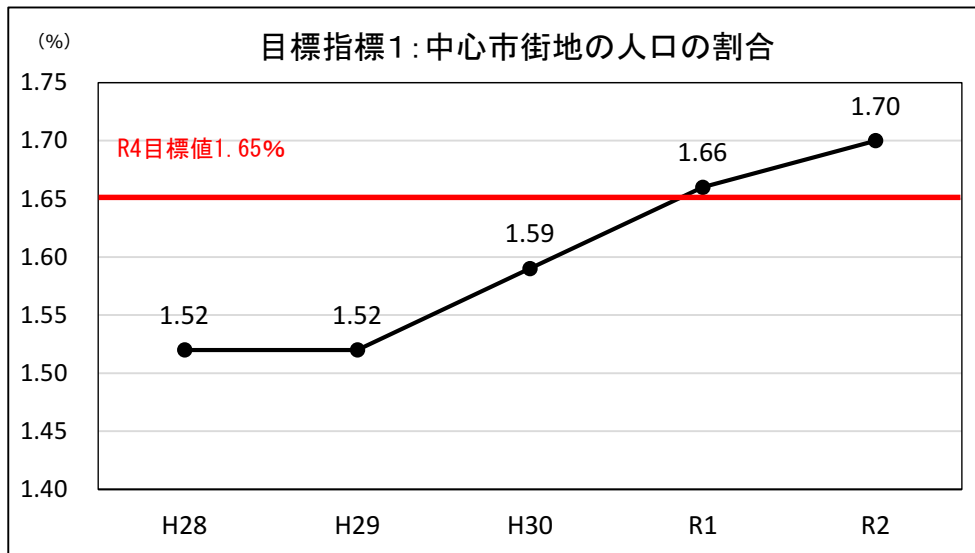
目標 1 : 「すべての世代が長く住み続けられるまち」の実現

目標指標	基準値 (H28)	目標値 (R4)	最新値 (R2)
中心市街地の居住人口の割合	1.52%	1.65%	1.70%

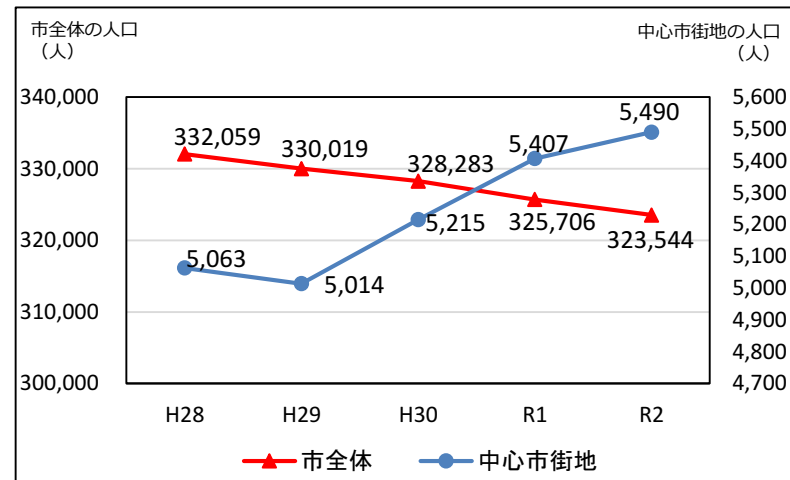
調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

調査日：毎年4月1日



<参考> 市全体と中心市街地の人口推移



目標達成の見通し

○中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成29年度以降毎年増加し続けている。

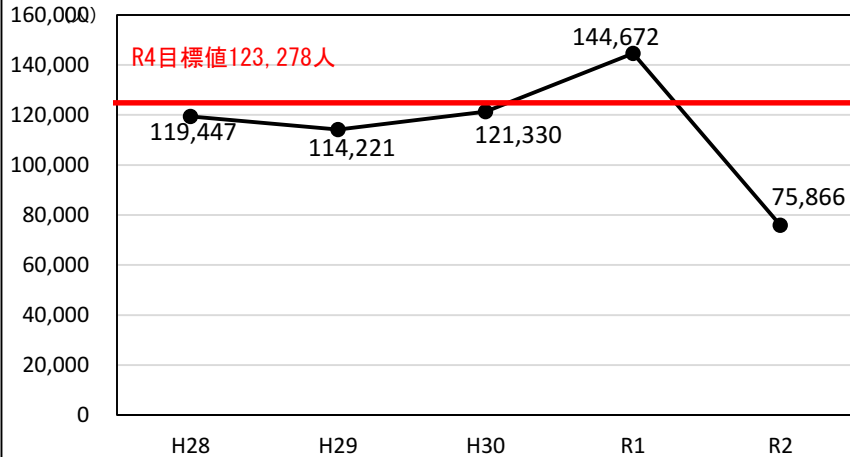
○新たなマンション整備は令和3年度に3棟、令和4年度にも3棟予定されていることから、今後も居住人口が増加すると予測され、**目標は達成可能**と見込まれる。

目標2：「多くの人回遊するまち」の実現

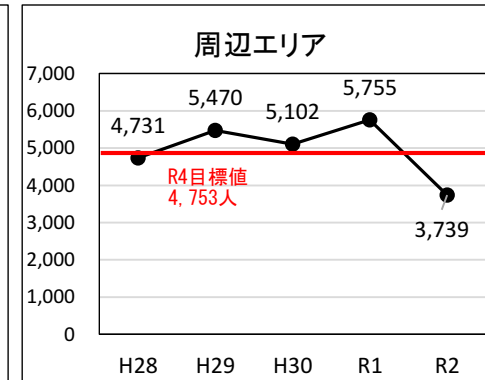
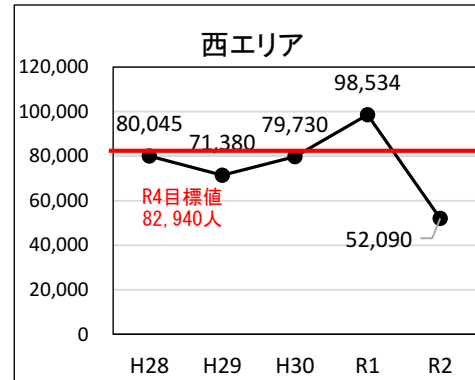
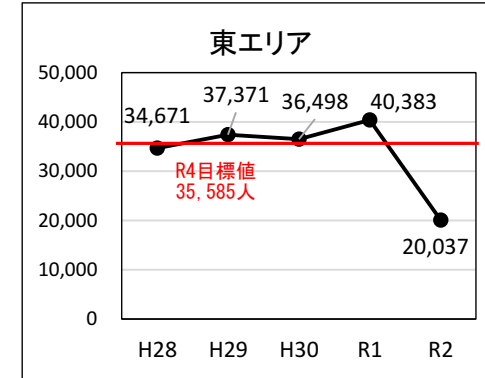
目標指標	基準値 (H28)	目標値 (R4)	最新値 (R2)
歩行者通行量 (17地点・冬季・平日休日2日の合計)	119,447人	123,278人	75,866人

調査対象：基本計画区域内17地点の歩行者
 調査方法：調査地点を10時～18時の間に通行する歩行者を計測
 調査日：毎年12月（第3金曜日及び日曜日）

目標指標2：歩行者通行量



<参考指標> エリア別 (※) の歩行者通行量



※エリアについて

<東エリア> 壱番街商店街, 新京橋商店街, 京町商店街 (東西2地点), はりまや橋商店街, はりまや橋時計下の6地点

<西エリア> 大橋通り商店街, 帯屋町二丁目商店街, 帯屋町一丁目商店街, おびさんロード商店街, 天神橋通商店街, 四国銀行帯屋町支店前, ひろめ市場東, オーテピア東の8地点

<周辺エリア> 菜園場商店街, 升形商店街, 高知橋南詰の3地点

目標達成の見通し

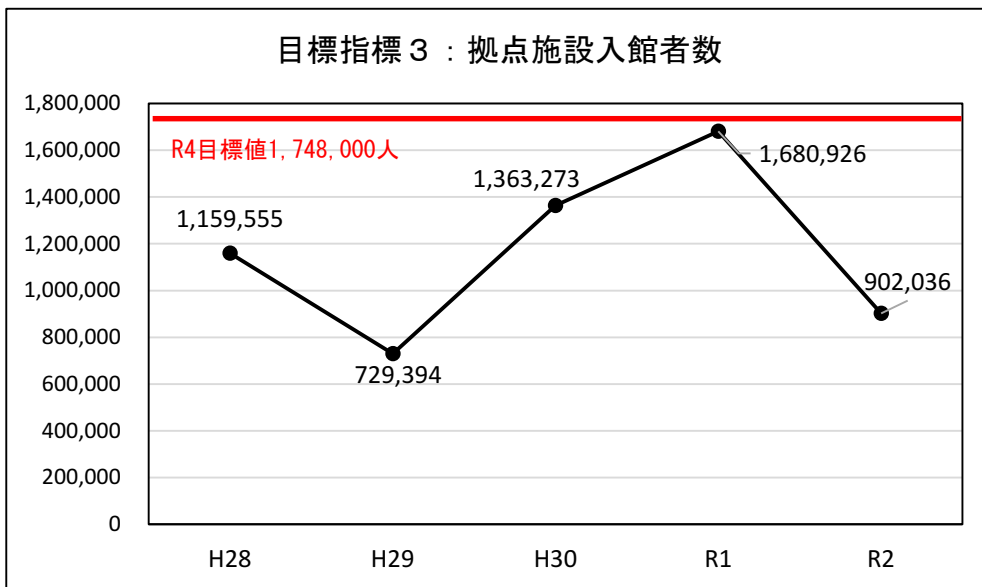
○中心市街地では帯屋町チェントロ (H27), 高知城歴史博物館 (H29), オーテピア (H30) が整備され, 新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い, 近年は歩行者通行量が増加傾向にあり, 令和元年度の歩行者通行量は144,672人と, 本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成24年度以降最も高くなっていた。

○しかし, 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の急拡大による外出控えや観光客入込数の減少が大きく影響し, 平成24年度の調査開始以降過去最低の数値となった。主要ハード事業は概ね順調に進捗している一方で, ソフト事業については, 数多くのイベントが中止や規模縮小を余儀なくされ, 今後についてもコロナの収束が不透明であるため, コロナ以前に設定した**目標を達成することは困難**と考える。

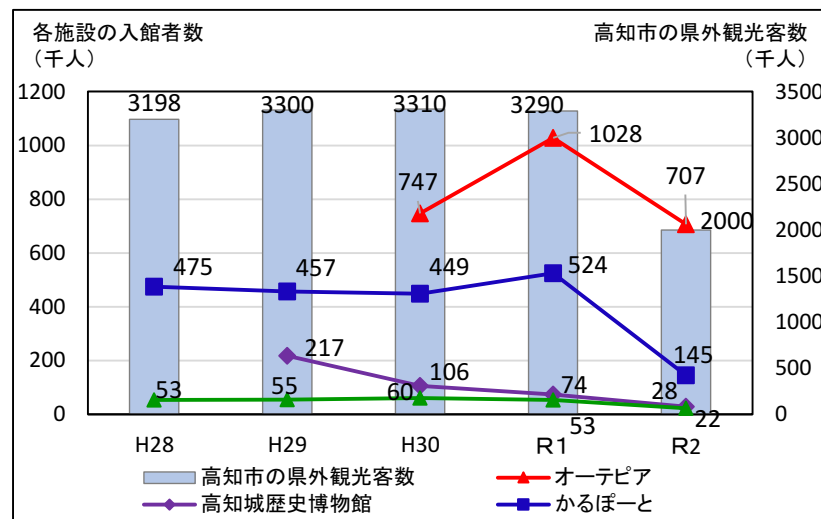
目標3：「また訪れたいと思うまち」の実現

目標指標	基準値 (H28)	目標値 (R4)	最新値 (R2)
拠点施設入館者数	1,159,555人	1,748,000人	902,036人

調査対象：オーテピア・高知城歴史博物館・かるぼーと・高知よさこい情報交流館の4施設
 調査方法：4施設の年間入館者数を集計
 調査日：毎年4月



<参考> 高知市の県外観光客数と各施設の入館者数



目標達成の見通し

○拠点施設の入館者数については、オーテピア開館（H30年7月）や事業の進捗により増加傾向となっていたが、一転して令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことやイベントの中止及び外出控えなどが影響し、前年の4割以上の落ち込みとなった。

○各拠点施設では感染症対策を行いながら各ソフト事業の展開に努めているものの、オンラインや密集を回避する規模での実施が今後のニューノーマルとなっていくことに加え、拠点施設の一つである「かるぼーと」は令和4年度から大規模改修が予定されており全館休館になることから、**目標を達成することは困難**と考える。